

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和06年06月20日(木)

事務事業		消防団車両整備管理事業			担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	52132	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり			根拠法令 個別計画等	NOx・PM法				
	小項目	2	消防・救急体制の充実								
	主要プロジェクト										
事業概要		複雑多様化する災害に対応するために、老朽化した消防団車両に対して順次、最新の消防団車両へ更新を行うことにより、各種災害に対応できる体制を整備するものである。また、災害対応における消防団員の安全確保のため、消防団車両26台の維持管理並びに車検整備をすることにより、常時運行可能な状態に保つものである。									
目的 ※何のために		複雑多様化する災害に対応し、災害時被害を軽減するとともに安全を確保するため。									
対象 ※誰・何を対象に		消防団車両									
手段 ※どのように		最新の消防団車両への更新、車検整備などの維持管理をする。 ※車両年次整備計画を見直し、車両運行状況や社会情勢を見極め消防団車両の更新を実施する。									
成果 ※何を求めるか		消防団車両を常時運行可能な状態に維持し、火災等の災害に常時対応できる体制を整備する。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額(円)
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	消防団車両購入事業		20,935,120
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	消防団車両維持管理事業		2,930,128
本事業の 主な業務		・消防団車両の更新						・			
		・消防団車両の維持管理						・			
		・車検整備						・			
		・消耗品の購入						・			
		・						・			
		・						・			

## 2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		第25分団	第13分団				
事業費	予算(現額)	23,817,000	25,012,000	3,364,000	26,772,000		
	決算額	23,065,865	23,865,248	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	19,600,000	20,700,000	0	23,100,000	
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	3,465,865	3,165,248	3,364,000	3,672,000	
人件費	従事職員数(人)	0.70	0.75	0.70	0.70		
	人件費相当試算※	5,508,690.00	6,007,624.00	5,852,630.00	5,852,630.00		
総事業費試算		28,574,555	29,872,872	9,216,630	32,624,630		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	車両更新率	目標値	%	100.00	100.00	0.00				
		実績値		100.00	100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			車両年次整備計画に基づき目標値を設定 / 更新台数／更新予定台数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	維持管理した消防団車両数	目標値	台	26.00	26.00	26.00				
		実績値		26.00	26.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			全消防団車両を維持管理するため、消防団車両数が目標値 / 消防団車両数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	火災等の災害対応率	目標値	%	100.00	100.00	100.00				
		実績値		100.00	100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			火災等の災害に対し、対応することが消防の責務であるため、目標値は100% / 災害対応数／災害数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	車両トラブルにより災害に出動できなかった回数	目標値	回	0.00	0.00	0.00				
		実績値		0.00	0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各種災害へ出動し、対応することが責務のため、目標値は0とする。 / 災害への出動不能回数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	1台あたりに係る管理経費	目標値	千円							
		実績値		1,099.02	1,148.95					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			法定点検車両台数の増減により、管理経費が変化するため、目標値が設定できない。 / 総事業費／団車両台数						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	車両年次整備計画に基づき計画的に消防団車両を更新した。また、更新の際にトリクル充電器を装備した。さらに、法令に基づき車検整備、定期点検を実施した。 車両、資器材に不具合が発生した際は、迅速に対応し常時運行可能な状態を維持した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	車両年次整備計画に基づく車両更新、法令に基づく車検整備、定期点検を実施した。さらに、車両、装備に不具合が発生した際は、適正に修繕し常時運行可能な状態を維持したことで、災害活動における迅速かつ円滑な災害活動を可能とした。
			評価者 課長補佐兼警防企画係長 坂本 浩

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	道路交通法改正後の普通運転免許に対応した、車両総重量3.5t未満の消防団車両へと更新した。トリクル充電器の未装備の車両が多いため、消防団員の会議等でバッテリーの定期的な点検や充電など適正な管理を依頼した。
			評価者 課長補佐兼警防企画係長 坂本 浩

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	3. 5 t未満の消防団車両へ更新を継続する。車両価格の高騰が顕著であることから、車両更新に伴う予算の確保について、今後の社会情勢の変化を見据え積算する必要がある。 更新の際は、バッテリーの劣化を防止するためのトリクル充電器を合わせて積装する。
達成状況及び その効果	車両年次整備計画に基づく車両更新について、3. 5 t未満の車両に更新を行った。限られた資器材の積載スペースを有効に活用するため団員から意見・要望を聴取し仕様書に反映させた。更新車両にはバッテリーの劣化を防止するためのトリクル充電器を合わせて積装した。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	消防団車両整備管理事業	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	52132
<div><div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div></div>		評価の内容説明					
		各種災害に対応する消防団車両及び装備が故障等により機能しなければ、市民生活に甚大な影響を与え、安全・安心に暮らせる街づくりが保証されない。 道路交通法改正に伴い、将来的な運転手の確保できなくなる可能性があることから、消防団車両はの普通運転免許証でも運転ができる、3. 5 t未満の車両へと更新を進めている。 財政面を鑑み更新予算が確保できない場合に備えた、車検整備、法定点検及び修繕の予算を確保し常時稼働できる状態に維持管理する必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	次長兼警防課長 小暮 誠				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	消防団車両の更新予算を確保できなかったことから、車検整備、法定点検を適切に実施することで常時稼働できる状態に維持管理する。車両年次整備計画の更新を行うとともに先送りとなった車両更新に伴う予算の確保について積算を行う。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	先送りとなった3. 5 t未満の消防団車両へ更新を実施する。更新の際は、バッテリーの劣化を防止するためのトリクル充電器を合わせて積装する。 経過年数や老朽化を考慮し、車検整備、法定点検及び修繕の予算を確保し維持管理を継続する。

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 1	指標名	車両更新率
区分	活動指標 2	指標名	維持管理した消防団車両数